

(2) 農業集落排水汚泥の堆肥化

農業集落排水汚泥は、処理施設周辺に農地があることから、有効利用しやすい。

亀岡市川東浄化センターでは、平成 21 年度に堆肥化施設を整備し、全汚泥を堆肥（「エコグリーン」）として登録されている肥料）として活用している。川東地区農業集落排水処理施設管理組合が策定した利用計画に基づき、堆肥は地域農業に役立てられ、循環型社会・低炭素社会の構築に貢献している。



堆肥保管庫



(3) 上部空間や増設予定地の利用

各浄化センターの増設予定地や施設の上部空間を利用して公園や運動広場等を設置し、地域住民のスポーツや交流の場として親しまれている。

1 京都府立洛西浄化センター公園「アクアパルコ洛西」（長岡京市）

桂川右岸流域下水道洛西浄化センターの水処理施設の上部空間を利用し、平成 8 年度に開園。府民の憩いの場、スポーツの拠点として利用されている。

平成 27 年 3 月にはテニスコート 6 面に夜間照明設備を整備し、4 月から夜間利用を開始した。

管理運営は、京都府立洛西浄化センター公園管理協会に委託している。

主な施設の概要

球技場	面積 13,125 m ² (125m×105m)
芝生球技場	面積 8,778 m ² (114m×77m)
テニスコート	砂入り人工芝 6 面
芝生広場	面積 約 3,700 m ²
設備	男女更衣室、シャワー、休憩室 身体障害者用トイレ

2 洛南浄化センター運動広場（八幡市）

木津川流域下水道洛南浄化センターの増設予定地を利用し、平成元年に設置。多目的グラウンドとゲートボールを設置しており、地域住民のスポーツ振興の場として親しまれている。管理は

洛南浄化センター運動広場運営協議会（事務局：八幡市教育委員会社会教育課）が行っている。

3 むくのきセンター（精華町）

木津川上流流域下水道木津川上流浄化センターの水処理施設の上部空間を利用し、平成13年に体育館とコミュニティーセンター（愛称「むくのきセンター」）を設置。増設予定地には精華町が多目的グラウンドを、木津川市にある相楽中継ポンプ場の上部空間には木津川市が西部交流会館を設置し、地域住民のレクリエーションや交流の場として親しまれている。

5-6 広報ほか

(1) 広報

1 出前語らい

府内自治会・教育機関・ボランティア団体等からの希望により、府職員が赴き、府の施策等について分かりやすく説明する取組が「出前語らい」である。

平成28年度実施「出前語らい」

実施日		対象	テーマ	参加人数
5月21日	水環境対策課	向日市民 ほか	・呑龍トンネルと水害 ・雨水貯留タンク「マイクロ呑龍」	13名
6月22日	流域下水道事務所	宇治市立南小倉小学校4年生	下水道と地球温暖化 （下水処理のしくみと資源の有効利用）	37名
11月24日 29年1月21日	流域下水道事務所	・府立乙訓高等学校普通科1年生 ・府立南陽高等学校サイエンスリサーチ科1年生（土曜サイエンス講座）	下水道と地球温暖化 （水循環、下水処理のしくみと水質簡易試験）	計35名

2 施設見学・下水道作文コンクール

下水道について学習する流域関連市町の小学校4年生を対象に、浄化センターの施設見学を実施しており、平成28年度は66校3,905人が参加した。

さらに、施設見学した小学校4年生を対象に昭和63年度から「下水道作文コンクール」を実施している。29回目となる平成28年度は16校654作品の応募があり、12月11日に「京都環境フェスティバル2016」の会場にて表彰式を行った。

入選した8作品を公益社団法人日本下水道協会および株式会社日本水道新聞社が主催する第56回下水道の日「下水道いろいろコンクール」に推薦応募した結果、推薦応募したうち1作品が作文部門（小学校高学年の部）において入選した。



3 施設公開

毎年、各浄化センターでは一般公開を実施しており、施設見学のほか、顕微鏡を使った微生物観察や水質試験等の体験ができ、平成28年度は合計939人（※を除く）の参加があった。

浄化センター	平成28年度 実施日	平成29年度 実施予定
洛西浄化センター	10月16日(日)	10月15日(日)
洛西浄化センター ※ 「いろは呑龍トンネル」	11月19日(土)・20日(日)	11月～12月(未定)
洛南浄化センター	8月20日(土) 8月27日(土)・28日(日)	8月19日(土)・20日(日) 8月26日(土)・27日(日)
宮津湾浄化センター	8月7日(日)	8月6日(日)
木津川上流浄化センター	10月15日(土)	10月21日(土)

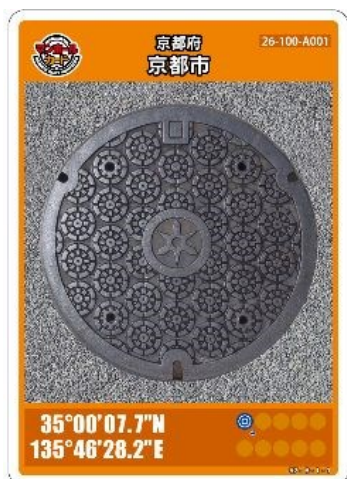
(2) 「マンホールカード」の発行・配布

下水道のマンホールふたは自治体ごとに趣向を凝らしたデザインとなっていることから、デザインと由来を紹介する「マンホールカード」の発行・配布が全国で進んでいる。
(平成29年4月3日現在 145自治体で 170種類を発行)

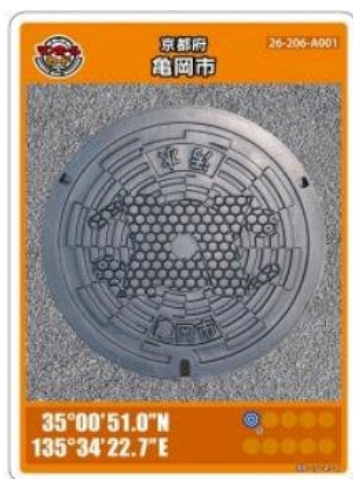
現在、京都府域の市町村では3市町(京都市・亀岡市・宇治田原町)において配布されており、京都府流域下水道では平成28年12月1日から宮津湾流域下水道で配布を開始した。天橋立の美しい環境を守る宮津湾流域下水道のマンホールふたには、右上がり勢いで天に昇る龍を描いた昇龍観、京都府の鳥「オオミズナギドリ」や府章がレイアウトされ、その美しいデザインをマンホールカードで紹介している。



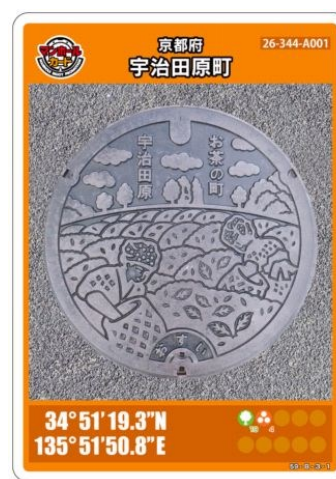
京都府流域下水道
(宮津湾流域下水道)



京都市



亀岡市



宇治田原町